



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-3210-1230

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	3,500	23.5	352	46.2	369	54.8	217	8.2
26年9月期第3四半期	2,833	7.6	241	18.4	238	△14.5	201	△21.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	38.15	—
26年9月期第3四半期	35.25	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年9月期第3四半期	2,789	—	1,819	—	65.2	318.53
26年9月期	2,743	—	1,720	—	62.7	301.21

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 1,818百万円 26年9月期 1,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	2,000.00	—	20.00	—
27年9月期	—	15.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月31日を基準日、4月1日を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割しております。平成26年9月期第2四半期末の配当額は、株式分割前の配当額を記載しております。

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	12.0	330	△5.9	330	△6.2	190	△46.8	33.26

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	5,712,000 株	26年9月期	5,712,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	— 株	26年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	5,712,000 株	26年9月期3Q	5,712,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(3)発行済株式数(普通株式)

当社は、平成26年3月31日を基準日、4月1日を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割しておりますので、「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記の予測数値に関する事項につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策等により企業業績や雇用情勢の改善が継続しております。また、業績改善を背景に企業が設備投資に積極的になっており、設備関連業種が中心となって経済を牽引しております。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、円安が好調な企業収益を下支えしているものの、アジアや欧州等海外景気の先行き不透明な状況が続いております。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、企業収益の改善を背景にIT投資は引き続き堅調に推移しております。

このような事業環境の下、現状の労働市場における顧客企業や求職者のニーズを見極め、付加価値の高い人材サービスを提供するとともに、平成26年10月1日に株式会社ユニテックソフトを吸収合併したことによる人的資源の有効活用を図ることで、収益力強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高3,500百万円（前年同四半期比23.5%増）、営業利益352百万円（前年同四半期比46.2%増）、経常利益369百万円（前年同四半期比54.8%増）、四半期純利益217百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は2,789百万円（前事業年度末は2,743百万円）となり46百万円増加いたしました。

（流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,332百万円（前事業年度末は2,215百万円）となり117百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は456百万円（前事業年度末は527百万円）となり71百万円減少いたしました。

主な要因は、無形固定資産の増加、投資有価証券の減少によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は969百万円（前事業年度末は1,022百万円）となり52百万円減少いたしました。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は692百万円（前事業年度末は629百万円）となり63百万円増加いたしました。

主な要因は、未払費用及び未払法人税等の増加によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は277百万円（前事業年度末は393百万円）となり115百万円減少いたしました。

主な要因は、退職給付引当金及び長期借入金の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,819百万円（前事業年度末は1,720百万円）となり98百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上及び退職給付債務の計算方法変更に伴う影響額の加減による利益剰余金の増加、配当金の支払いによる減少、投資有価証券評価差額金によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の「営業利益」「経常利益」「四半期純利益」が通期の業績予想を超過しておりますが、先行きが不透明であるため平成27年9月期通期の業績につきましては、平成26年10月31日に公表いたしました内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の見込支払日までの平均期間に基づいた割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の退職給付引当金が93百万円減少し、利益剰余金が93百万円増加しております。なお、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433,737	1,514,711
受取手形及び売掛金	517,854	670,097
その他	263,700	148,066
貸倒引当金	△52	△67
流動資産合計	2,215,240	2,332,807
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,811	6,133
工具、器具及び備品(純額)	8,595	7,824
有形固定資産合計	16,406	13,957
無形固定資産	6,279	16,005
投資その他の資産		
投資有価証券	471,931	386,816
敷金及び保証金	32,500	36,628
その他	710	3,049
投資その他の資産合計	505,141	426,494
固定資産合計	527,828	456,457
資産合計	2,743,069	2,789,265
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	37,527	31,193
未払費用	222,299	278,554
未払法人税等	21,372	37,880
未払消費税等	97,176	108,163
賞与引当金	132,523	79,060
その他	58,336	97,556
流動負債合計	629,235	692,408
固定負債		
長期借入金	105,000	60,000
退職給付引当金	285,178	214,699
その他	3,127	2,736
固定負債合計	393,306	277,436
負債合計	1,022,541	969,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	546,876	658,248
株主資本合計	1,763,133	1,874,505
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△42,605	△55,892
評価・換算差額等合計	△42,605	△55,892
新株予約権	—	807
純資産合計	1,720,527	1,819,420
負債純資産合計	2,743,069	2,789,265

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,833,998	3,500,418
売上原価	2,152,776	2,618,012
売上総利益	681,221	882,405
販売費及び一般管理費	439,939	529,551
営業利益	241,281	352,854
営業外収益		
受取利息	172	564
受取配当金	—	8,686
投資有価証券売却益	411	1,001
投資事業組合運用益	6,194	—
賞与引当金戻入額	—	8,991
その他	1,721	1,198
営業外収益合計	8,498	20,442
営業外費用		
支払利息	2,379	1,832
投資事業組合運用損	7,886	1,022
債権売却損	828	886
その他	102	216
営業外費用合計	11,197	3,958
経常利益	238,583	369,338
特別利益		
受取和解金	800	—
特別利益合計	800	—
特別損失		
訴訟関連損失	1,480	—
固定資産除却損	—	2,880
特別損失合計	1,480	2,880
税引前四半期純利益	237,903	366,458
法人税、住民税及び事業税	20,304	54,746
法人税等調整額	16,248	93,798
法人税等合計	36,553	148,544
四半期純利益	201,350	217,913

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,345,715	488,282	2,833,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,345,715	488,282	2,833,998
セグメント利益	219,168	22,113	241,281

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,035,969	464,448	3,500,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,035,969	464,448	3,500,418
セグメント利益	326,937	25,917	352,854

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社は、平成26年10月1日付で当社を存続会社、株式会社ユニテックソフトを消滅会社とする吸収合併を行いました。この結果、のれんが発生しておりますが、金額が僅少であるため「エンジニアアウトソーシング事業」「N&Sソリューション事業」セグメントにおいて、発生時の費用として第1四半期会計期間で一括償却しております。